

景気動向指数 平成 23 年 11 月分（速報）の概要

11 月の C I（速報値・平成 17 年=100）は、先行指数：92.9、一致指数：90.3、遅行指数：82.8 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して 0.9 ポイント上昇し、4 ヶ月振りの上昇となった。3 ヶ月後方移動平均は 0.43 ポイント下降し、3 ヶ月連続の下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.37 ポイント上昇し、3 ヶ月振りの上昇となった。

一致指数は、前月と比較して 1.1 ポイント下降し、2 ヶ月振りの下降となった。3 ヶ月後方移動平均は 0.23 ポイント下降し、2 ヶ月振りの下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.62 ポイント上昇し、2 ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して 0.1 ポイント上昇し、2 ヶ月振りの上昇となった。3 ヶ月後方移動平均は 0.47 ポイント下降し、2 ヶ月連続の下降、7 ヶ月後方移動平均は 0.30 ポイント下降し、2 ヶ月連続の下降となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I 一致指数）は、下げ止まりを示している。

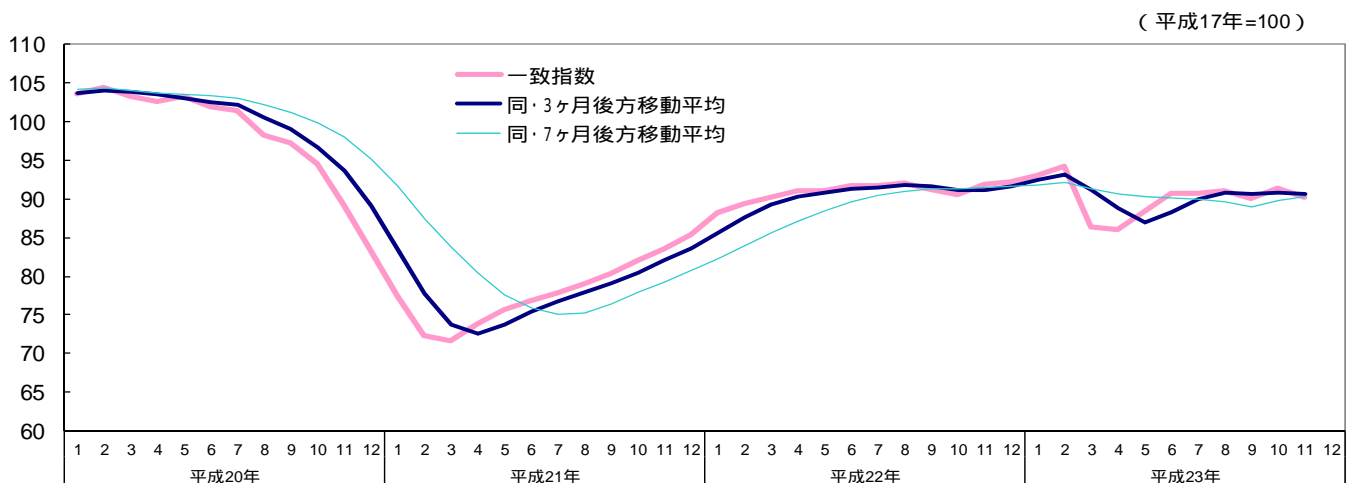
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.25	C4：耐久消費財出荷指数	-0.45
C3：大口電力使用量	0.14	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.31
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.11	C1：生産指数(鉱工業)	-0.27
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.05	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.18
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.18
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.16
		C9：営業利益(全産業)	-0.05

「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）23 年 9 月分より、景気動向指数の第 10 次改定を反映した指数に切り替わっている。なお、現時点で得られる値のみで求めた。